

平成25年10月31日

## 潟東地域適正配置に関する経緯の概略について

教育総務課企画室

- H17 市長ミーティング  
学校の統合を早く進めてほしい
- H22.6 コミュニティ協議会との懇談会  
3小学校の児童数が少なくなっている。
- H22.7 市長ミーティング  
3小学校の統合が望まれている
- H23.2 潟東地区まちづくり懇談会  
西小校区は危機感あり。今後勉強会を立ち上げる方向で考える。
- H23.10.15 学校統廃合に係る懇談会（会場 ゆう学館 住民25人位が参加）  
適正配置基本方針を説明  
潟東地域における検討委員会の設置について ⇒ 検討会設置を確認
- H23.12 潟東区長会  
・学校適正配置に係る潟東地区検討委員会について
- H24.3 潟東西、潟東南小学校区ごとの懇談会開催
- H24.8 潟東東小学校区 集落ごとの懇談会開催
- H24.12.10 検討委員会開催（会場 潟東農村環境改善センター）
- H25.3.4 潟東3小学校長とコミ協、教育委員会の懇談  
・これまでの経緯・検討会の経緯、今後のスケジュール ・学校への協力をお願い
- H25.4.12 保育園保護者との懇談会
- H25.4.26 潟東東小学校・潟東南小学校 PTA総会にて学校適正配置についての説明会  
参加保護者に対しアンケートのお願い
- H25.4.27 潟東西小学校において前日と同様の説明会及びアンケートのお願い
- H25.5 「学校適正配置基本方針概要版(教育委員会作成)」の全戸配布
- H25.6.25 自治会長視察研修（豊照・湊・栄・入舟小学校）
- H25.7.27 潟東学校適正配置検討委員会  
・これまでの経緯を踏まえ、小学校の統合について協議する。  
・検討会として「3小学校は統合の方向で進める」ことを確認
- H25.10.31 第1回小学校統合検討委員会（本日）

新潟市長  
篠田 昭 様

潟東東小学校・潟東西小学校・潟東南小学校  
統合についての要望書（案）

平成25年 月 日

潟東地域コミュニティ協議会

新潟市教育委員会  
教育長 阿部 愛子 様

潟東東小学校・潟東西小学校・潟東南小学校  
統合についての要望書（案）

平成25年 月 日

潟東地域コミュニティ協議会

〇〇の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私たち潟東地域コミュニティ協議会は、旧潟東村地域における諸課題の解決や地域振興に尽力しております。

さて、当地区では今後、児童数の減少が見込まれ、潟東地区3小学校（潟東東小学校・潟東西小学校・潟東南小学校）の小規模化の進行が想定されることから、平成23年10月に「学校適正配置にかかる潟東地区検討委員会（以下、検討委員会という）」を立ち上げました。以後、潟東地区3小学校の将来的な在り方について、子どもたちのより良い教育環境の実現を目指す観点から、検討委員会を中心に様々な場において協議を行ってまいりました。

この度、この検討委員会におきまして、潟東地区3小学校の将来像についての現時点における考え方を、地域の総意として以下のように要望をまとめました。つきましては、その趣旨をご理解いただき、関係各位からのご協力をお願いします。

## 要 望 事 項

- 1 潟東地区の潟東東小学校、潟東西小学校、潟東南小学校を統合すること。
- 2 統合の時期や方法、統合小学校の位置など統合に係る詳細については引き続き検討し、平成 年 月を目途に地域の意見をまとめることとする。については、教育委員会及び市当局は、地域の意見集約に向けて、必要な支援や協力をする

こと。  
なお、統合の詳細に係る地域合意がなされた後は、改めて書面により皆様にご協力をお願いすることとします。

また、当協議会では、潟東地区の将来を担う子どものため、今後も地域の教育問題に積極的に取り組み、地域として学校を支えていきたいと考えておりますので、継続的な教育委員会のご支援をお願いいたします。

## 潟東地区統合小学校開校までのスケジュール(施設)

- 前提
- ◎ 平成26年度上半期までに、統合の方法や時期、統合小学校の位置などの詳細について地域合意が得られた場合
  - ◎ 平成27年度当初予算に新築、改築、用地取得等の予算が認められた場合
  - ◎ 新築においては、用地の選定や買収などが順調に進んだ場合
  - ◎ 増築においては、既存校舎改修の度合いにより、工期が延びることも想定される。

施設	場所	費用	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
			平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年
新築	新規取得	15～20億円 (用地取得費は除く)	← 用地取得・造成 →			← 基本・実施設計 →		← 建設 →				
増築	潟東東小学校 潟東西小学校 潟東南小学校	2～3億円	← 設計 →	← 建設 →								
プレハブ	潟東東小学校 潟東西小学校 潟東南小学校	0.5～1億円	← 建設 →									

### 統合校舎整備の比較

敷地候補	潟東東小	潟東西小	潟東南小
整備方針	■不足分を増築し、既存施設を活用	■不足分を増築し、既存施設を活用	■不足分を増築し、既存施設を活用
敷地	既存使用(約23,700㎡)	既存使用(約18,400㎡)	既存使用(約17,700㎡)
校舎	既存使用+増築	既存使用+増築	既存使用+増築
屋内体育館	既存使用(約523㎡)	既存使用(650㎡)	既存使用(549㎡)
プール	既存使用	既存使用	既存使用
グラウンド	既存使用(約12,000㎡)	既存使用(約9,300㎡)	既存使用(約9,800㎡)+遊具移設
解体	昇降口前の庇・階段	なし	なし
メリット	●3校でグラウンドが最大 ●既存の各特別教室が広い	●3校で屋体が最大 ●整備費用が安く工期が短い	●H23建築の屋体を活用 ●既存の各普通教室前に多目的スペースあり
デメリット	▲3校で屋体が最小 ▲工期が最長(既存改修工事が多いため)	▲既存校舎が古い(S43建築・耐震改修済み)	▲現在の教室配置の関係で、グラウンドに校舎を増築することを想定すると、3校でグラウンドが最小(約8,900㎡)となる。